

取り組みの背景と特徴 非常に高い高齢化率

田根地区の高齢化率は約28%で、長浜市全体での高齢化率約20%を大きく上回っています。また、高齢化率が21%を超えると超高齢化地域と言われ、50%を超えると自治会の存在さえ難しくなるとも言われています。田根地区には40%を超える自治会もあり、ほとんどの自治会が超高齢化地域になっています。そういった状況から、多くの皆さんが自治会活動に危機感を抱いていたため、地域づくりについて理解してもらいやすかったようです。



高畑町自治会で行われている高齢者サロンの様子

今までの蓄積

また、田根地区では、既に昨年5月に「子ども見守り隊」（140人のボランティア）を立ち上げてきた経緯と活動実績があるほか、今までは「一日回峰行」や「遊三ツフェスタ」などのイベントを自治会の枠を越えて取り組まれてきたことから、地域で取り組むということにあまり抵抗がなかったようです。

タネから花咲か塾

田根地区が抱えるさまざまな課題をまちづくりのエネルギーに変えて、タネの地域に市民自治の花を咲かせようと昨年の8月に発足した「タネから花咲か塾」。田根地区地域づくり協議会の設立の陰にはこのグループの活動があったようです。その活躍は、代表理事の川西さんが「花咲か塾は、地域づくり協議会の〈先駆け隊〉として活動をしてくれたので非常に助かりました。今後は地域づくり協議会の〈実行部隊〉として、また起爆剤として有効に働いてくれることを期待しています。」と言われるほど、とても大きな存在のようです。

次に続けモデル地区

二番 セカンド ○○地区

昨年度は協議会を設立された田根地区のほかに、神照、六荘、南郷里、西黒田地区がモデル地区として手を挙げられ、取り組みを始められました。その後、各地区では、地域づくりに関する説明会や講演会を開催するなど、地区内の皆さんへの説明を行うとともに、組織づくりに向け協議が進められています。

そこで、長浜市連合自治会長であり、昨年9月にモデル地区に手を挙げられた神照地区の連

「共助」の心を大切に



市連合自治会長の松原 晃 さん

長浜市連合自治会では、昨年度から市と協働しながら公民館単位での地域づくりを進めています。

私の住む神照地区でも、子どもたちの安全や高齢者の介護など、一つの自治会だけでは対応できない問題も生じてきたので、地域全体で考えていくこととしました。幸い、神照地区は、公民館を中心にいろいろな活動

を行っているうえに、各種団体等の活動も活発であり、また地域づくりを行う上でのベースとなる組織が概ねできていたことから、モデル地区として手を挙げました。

そこで、昨年度は、自治会長さんへの説明会や地域づくり講演会などを開催し、「これからは地域のことは地域のみんなで取り組んでいくんだ」という「共助」の考え方を共有してきたところです。

今後は、できるだけ早く「地域づくり協議会」を設立し、計画づくりに取り組んでいきたいと考えています。

※共助 自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

地域づくりの応援団

いろんな支援策

市では、各地域の取り組みを支援するため、4つの支援策を考えています。

①人的支援

協議会の設立準備段階や計画策定時に、組織づくりや活動内容などに関し、必要に応じて職員が支援します。さらに、協議会設立後も他地域との情報交換の場の設定や先進事例等の紹介など、さまざまな情報の提供や相談に応じます。

②財政支援

新たに地域づくり協議会を立ち上げる地域や、計画づくりに取り組む協議会に対し、予算の範囲内で交付金を支給します。

③出前講座

地域づくりの進め方について説明します。

④リーダーの養成

地域づくりのリーダーを養成するため、「リーダー養成講座」を開催します。

自分なりの思いを持つて

川村美津子さん

昨年度の講座を受講された川村さんと北村さんから、受講した動機や講座の感想などをお聞きましたので紹介します。

高齢者の皆さんが地域で元気に過ごせないかと考えていたときに、地域づくりリーダー養成講座が開催されることを知り、もつと勉強ができればと思い応募しました。

講座で一番印象に残ったのは、「住民が知恵と汗を出すことが、地域の元氣を出すことにつながる」という言葉でした。

地域のために何かを始めようと思われている方は、リーダーという言葉に氣にせず、地域づくりへの自分なりの思いをもつて、こういった講座を受講されるのもいいかもしれませんね。



岐阜市京町地区での視察の様子

視察でヒントをゲット

北村優子さん

地域での子育てを考える中で何かヒントになるものがあればと思い、地域づくりリーダー養成講座に応募しました。

その中で心に残ったのは、視察先で地域の防災隊のメンバーに中学生が加わっていたことでした。子どもたちと地域の関わりについて考えていたので、とても参考になりました。すぐにとはいきませんが、学んだことを地域で生かしていきたいと思います。

やれることから 楽しみながら

地域住民による自治活動としては、地域福祉や防災・防犯、環境保全といった活動がまずは思い浮かぶと思います。しかし、全国的にみると、食料・日用品を扱うふれあいマーケットを運営するところ（広島県旧高宮町川根地区）、過疎化の歯止めにと自治会で宅地分譲に取り組んだところ（岩手県旧大東町下内野自治会）などがあり、住民自治組織でも相当なことができることがわかります。

こうしたところでも最初からこれらの取組を行うことを前提に住民自治に取り組んできたわけではありません。地域の現状と課題について住民同士が話し合いを重ねて、学習と実践を繰り返してきた結果です。まずはやれることから、そして楽しみながらやってみることが肝要かと思っています。

地域づくりリーダー養成講座講師
押谷 茂敏氏（長浜市出身）

